

プラスチック被覆肥料の 被膜殻の流出防止に ご協力ください



プラスチック
被覆肥料

水稲用の一発肥料としてよく利用されているプラスチック被覆肥料は、軽労化や施肥量の削減につながるなどの利点がありますが、表面をプラスチックの被膜でコーティングしているため、水田では肥料成分が溶出した後の被膜殻が水面に浮上し、河川等へ流出する可能性があります。

肥料成分が溶出した後の被膜殻



水田外へ流さないために
まず出来る取組から
始めましょう!

詳しくは裏面へ



対策のポイント

重要

浅水代かき

※流出した被膜殻の大半がこの時期のものです。

- 入水までに田面の高低差をなくし、できるだけ均平にする。
 - あぜが崩れていないかを確認し、必要に応じてあぜ塗りやあぜシートを設置する。
 - 代かきはできるだけ浅水で行う。
 - >表面が7~8割見える程度
 - >被膜殻を土の中に練り込むように行うことで、被膜殻が水田に浮くのを防止し、水田外への流出を少なくする
 - 田植前の落水は行わず、自然落水で水位を調整する。
- ※これらは被膜殻だけではなく、濁水や肥料成分の流出防止にも有効な取組です。



水田外に出させない対応

☑ 捕集ネットの設置

① 材料をそろえる

[材料例]

- 玉ねぎネット※ネットの網目は2mm以下
- BBQ用の網
- クリップ
- 園芸用支柱



② 水尻に設置

ワラなどがネットに詰まることを減らすため、柵を2重にして設置するなどしましょう。



☑ プラスチック被膜殻のすくい取り

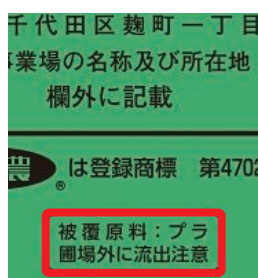
- 田面に浮いている被膜殻を適宜すくい取り、河川等に流出させないようにする。

施肥方法・肥料の見直し

- プラスチックを使用していない緩効性肥料や流し込み液肥の活用。
- 土壌診断や栽培暦等に基づいた適正施肥に努める。
- 緑肥や堆肥などの有機質肥料の活用。

参考情報(被覆原料の表示について)

- 肥料の被覆原料に何が使用されているか、国の告示に基づき肥料袋等に表示されています。(例)被覆原料:プラスチック
- 肥料の購入や使用に際し、袋に表示されている被覆原料を確認の上、プラスチック被膜殻の流出防止対策にご協力をお願いします。



対策動画

被覆肥料に関する情報

